

**製品名: POLR2A マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM86083**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	217.2kDa

## 抗原情報

遺伝子名	POLR2A (monoclonal) (M01AA) DNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1, RNA polymerase II subunit B1, 2.7.7.6, DNA-directed RNA polymerase II subunit A, DNA-directed RNA polymerase III largest subunit, RNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1, 2.7.7.48, POLR2A, POLR2
別名	
遺伝子 ID	5430.0
SwissProt ID	P24928
免疫原	この POLR2A 抗体は、ヒト POLR2A の 340 ~ 566 アミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

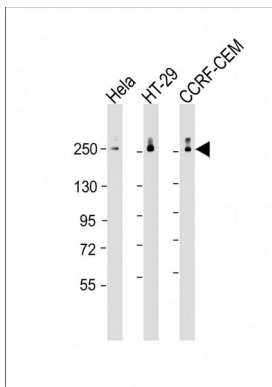
## 背景

DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。mRNA 前駆体と多くの機能性非コード RNA を合成する RNA ポリメラーゼ II の最大の触媒成分です。2 番目に大きいサブユニットと共にポリメラーゼの活性中心を形成します。Pol II は、基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構の中心的な成分です。互いに相対的に移動する可動要素で構成されています。RPB1 は、中央の大きな溝、溝を開閉するために移動するクランプ要素、および入ってくる DNA テンプレートを掴むと考えられているジョーを持つコア要素の一部です。転写の開始時には、プロモーターの一本鎖 DNA テンプレート鎖が Pol II の中央の活性部位の溝内に配置されます。RPB1 から橋かけらせんが伸びて触媒部位近くの溝を横切り、ヌクレオチド付加の各段階で直線状から曲がった構造に切り替えることで RNA-DNA ハイブリッドを活性部位を通して移動するラチェットとして機能し、ポリメラーゼ II の転座を促進すると考えられています。転写伸長の過程では、転写産物が伸長するにつれてポリメラーゼ II はテンプレート上を移動します。伸長はポリメラーゼ II 最大サブユニット (RPB1) の C 末端ドメイン (CTD) のリン酸化状態によって影響を受けます。このサブユニットは、転写の開始、伸長、終結、および mRNA プロセッシングを制御する因子の組み立てのプラットフォームとして機能します。デルタ肝炎ウイルスのスマール デルタ抗原と結合すると RNA 依存性 RNA ポリメラーゼとして機能し、ウイルス RNA 環状ゲノムの複製と転写酵素の両方として機能します。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 POLR2A 抗体 (モノクローナル) (M01AA) 1:2000 希釈